

わたりはるいち
広島市 亘 春市文書 仮目録

(請求記号 198805)

平成 19 年(2007) 6 月 (pdf 版公開)

広島県立文書館

凡 例

- 1 本目録には，広島市 亘 春市文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(198805)と，この項目の記号を
組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 2 198805 / 2

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り，ないものは
適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきもの
があれば〔 〕で補った。

年 代 資料表題に記された作成年月日を採用した。

作 成 資料に授受関係のあるものは 〔 〕で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため，本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

ひろしまし わたりはるいち
広島市 亘 春市文書（請求記号 198805）

終戦当時広島県警察部警防課防空主任であった亘春市氏が所蔵していた原爆投下，終戦関係資料

出 所 亘 春市

出所地名 広島市

役 職 警察官

分 量 5点

収蔵までの経緯 昭和62年(1987)7月，原蔵者が広島県に寄贈。昭和63年(1988)10月，県立文書館開館とともに当館に引き継がれた。

年 代 昭和20年(1945)

歴 史 亘 春市氏は明治41年(1908)生まれ，平成9年(1997)没。原爆投下時は広島県警察部警防課防空主任であったが，たまたま市街出張中で難をのがれ，帰広後ただちに被災者の救護活動に従事した。警察官は50歳で退職した。

内 容 原爆被害に関して広島県知事が警察署などに送付した報告書(八月六日広島市空襲被害並ニ対策措置ニ関スル件)。原爆投下および終戦に関するちらしと新聞。

関連史料 一部は複製がある(複製資料番号 P01/0-5)。

参考資料 一部は『広島県史』原爆資料編(昭和47年3月)に収録されている。警友会『原爆回想録 40年目の顕彰』(平成元年8月)に亘春市氏の手記が掲載されている。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」。複製は『広島県立文書館複製資料目録』第1集

(2000. 7.19 記述 / 安藤福平)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	〔広島市空襲に対する広島県知事〕告諭	昭和20年8月7日	広島県知事高野源進	活版	1枚
2	〔終戦〕詔書	昭和20年8月14日	昭和天皇	活版	1枚
3	〔終戦に際しての広島県知事告諭〕	昭和20年8月15日	広島県知事高野源進	活版	1枚
4	八月六日広島市空襲被害並ニ対策措置 ニ関スル件(詳報)	昭和20年8月21日	広島県知事 内務省防空総本 部長ほか	仮冊	1冊 (B5 54頁)
5	中国新聞 昭和20年9月4日	昭和20年9月4日	中国新聞社	活版	1枚(2頁)